

(様式⑦ 小学校・中学校)

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす児童像	主体的に学び続ける子 自らを律し、生涯にわたり学び続ける子 の育成 をめざす	堺市立 校長 永井 美穂	新金岡東小 学校
----------------	---	-----------------	-------------

令和6年度 重点目標

「豊かな心・健やかな体・確かな学力の育成」という本校の学校教育目標をもとに、中学校区におけるめざす児童像主体的に学び続ける子に迫るため、以下の示めざす子ども像・学校像・教職員像により近づいていくことで学力を向上させていきたいと考えている。

めざす子ども像：『ひがしっ子』のひ・人を大切にする子・が、頑張りぬく子・し・しっかりと自分をみつめ考える子の育成

めざす学校像：『安全・安心な明るく楽しい学校』『一人ひとりの良さを伸ばし学びあう学校』『家庭・地域に開かれた信頼された学校』の風土の醸成

めざす教職員像：『教育活動に夢と希望を持ち続ける教職員』『学び続け確かな指導力を発揮する教職員』『豊かな人権感覚を持ち信頼される教職員』への薫化

確かな学力の現状 ○令和5年度は子どもが「わかる授業」「できる授業」に重点を置き、ユニバーサルデザインの授業改善を行った。まずは、一日の学校生活や1時間の授業の見通しを丁寧に視覚化し、安心して教室で学べる基礎的環境整備に取り組んだ。その結果、どの学年の児童も静謐な教室環境の中で学習し、安心組むことができ、学校教育アンケートの「勉強したことでできることは増えましたか。』の肯定回答率が8割を超えた。また、東っ子の学習スタンダードの徹底を図ることで、主体的・対話的な学習習慣を定着させることがつながら、結果『授業中、自分の考えを書いたり、話をよく聞いて話し合ったりしていますか。』の学校教育アンケートの肯定回答率も8割を超えている。令和6年度は「主体的・対話的で深い学び」のより深い学びにせまるため、学びのコンパスや堺版STEAMブックの授業づくりを進めていきたい。	豊かな心・健やかな体の現状 ○令和5年度は「豊かな心」では、学びの調査・アンケート結果によると、「人の気持ちがわかる人間になりたい」「人の役に立つ人間になりたい」について中学年の肯定率は低いが高学年では高くなり、6年生では堺市平均を大きく上回った。「自分には良いところがある」について肯定的評価が80%を超えた。「将来の夢や目標をもっている」については肯定的評価が70%以下で低いといえる。総合的にみて「自分は自分で大丈夫」という意識につながる『自己肯定感』に課題が見られる。○「健やかな体」では、「運動することが好き」と答える肯定回答率が4年6年以外では80%を超えた。休み時間もほとんどの子どもが運動場に出て、元気に体を動かし活動できている。運動することが好きという子どもが大半を占める本校の良き強みを活かして、民間体育でさらに子どもたちの体力向上と健康保持推進につながる体育活動を増やしていきたい。
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
豊かな学び	基礎基本の定着	自己選択・自己決定を原則とした学習方法で、読む・書くの基礎力と聞く・話すの基本を定着させる。	●毎朝「モジュール学習」「読書タイム」実施、自己選択・自己決定を原則とした学習スタイルで認知トレーニング(ビジョントレーニングや注意集中力の向上)を行う。	学校アンケートで『朝のモジュール学習や読書タイムは好きですか』児童の割合は80%	学校教育アンケート	通年	概ね順調に進んでいる	◎ 東っ子アンケートで朝の学習の時間が好き・どちらかといえば好きと回答した肯定回答率が84%	◎ 基礎・基本の定着や授業改善とともに、目標を上回るアンケート結果から、先生方の努力が表れていると思います。
			国語の授業に限らず、総合的な学習の時間や特別活動の時間を使って、聞く・話す活動を充実させる。	学校アンケートで「学校の様々な活動の中で、聞く・話す活動を行っている」児童の割合が80%	行動観察	毎週	概ね順調に進んでいる	○ 友達の意見を聞くことや自分の意見を発表する活動が楽しいとノートに振り返る児童がどの学年にもいる。アンケートの肯定回答率80%	○ 生きていくうえで『読むこと』・『話すこと』・『聞くこと』・『書くこと』(計算すること)』は重要。学習の場でも生活の場でも必要。
	授業改善	「勉強が楽しい」(わかる・できる・やってみたい)と感じる授業づくりを行う。	★授業の中で、必ず自分の考えをノートに書く場面を取り入れたり、考えや学習の足跡がわかるようなノート指導に取り組む。	学校アンケートで「自分の考えを書いたり話している」児童の割合は80%以上。	児童のノート 学校教育アンケート	通年 3学期	概ね順調に進んでいる	○ 自分の考えをノートやワークシートに書く活動がどの学年でも取り組まれノート指導の充実が見られた。アンケートの肯定回答率83%	○ 基礎・基本を身につけ応用する力を持ち自分の考えを話したり、書いたりして伝える場をしっかりと作っておられる。
			●東っ子スタンダードを徹底し、ペア学習やグループ学習などの対話的で協働的な学びから、自らの学びのめあてを選び取る学習スタイルに挑戦する。	学校アンケートで「自分の考えを書いたり話している」児童の割合は80%以上。	児童のノート 学校教育アンケート 授業観察	2・3学期	概ね順調に進んでいる	○ 自分の考えをもち、ペア学習やグループ学習で他者の意見を聞いたり比べたりして自分の考えを深める活動ができていた。アンケートの肯定回答率83%	○ 学校が中心となり基礎力をつけ、家庭でもよりよく伸びていけばすばらしいものになるでしょう。
			全学年で自主学習ノートに取り組み、家庭学習の習慣を作る。	4年生以上で家庭学習を30分以上している児童の割合60%以上	学校教育アンケート	通年 3学期	概ね順調に進んでいる	○ 全学年で自主学習ノートに取り組んだ。職員室前の掲示板に揭示。アンケートの回答率60%台	○ 低学年の自主学習は取り組むのが難しいのでは・・・
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権尊重を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。	児童会活動を充実させ、思いやりの心、高学年のリーダーシップ等を育て、社会性を高める指導を充実させるとともに、いじめのない学校をめざす。	「いじめのない学校にしたい」で肯定的評価90%以上。	いじめアンケート	1学期 2学期 3学期	概ね順調に進んでいる	○ いじめ集会を開き、児童会代表児童による児童会ニュースを作成、児童によるいじめ防止の取り組みを行った。	○ 児童会を中心に『いじめ防止集会』ができみんなに啓発したのはよかった。
			最後までやりきる成就感、達成感が得られる活動を行い、自己効力感を育てる。	「自分にはよいところがある」で肯定的評価75%以上。	学習状況調査	3学期	概ね順調に進んでいる	○ 自分には良いところがある肯定回答率が80%	○ お互いを思いやれる人間関係が大事。
			特別活動・道徳教育を軸に、すべての学習活動で互い違いを認め尊重し、共に生きようとする態度を養う。	「人の役に立つ人間になりたい」肯定的評価80%以上	学習状況調査	通年 3学期	概ね順調に進んでいる	○ 「人の役に立つ人間になりたい」肯定的回答率80%	○ 人間関係の根底には自尊感情がある
			●一人ひとり児童に積極的にかわり肯定的に受容することで児童の自己肯定感と教職員への信頼度を高める。	「先生はよく話を聞いてくれますか。」「先生によくほめてくれますか。」「についてともに肯定率80%以上。	学校アンケート	通年 3学期	概ね順調に進んでいる	△ 先生はよく話を聞いてくれる先生はよくほめてくれる肯定回答率70%	○ 心の教育の充実については、子ども同士の関わりの方や個人の物事の捉え方によって人間性が出てくることから、少しずつ改善されればよいと思います。
体力向上	体力向上	体力向上推進校の指定を受け、保健健康指導の充実と運動に親しむ環境整備と、体力の向上に取り組む。	体力向上推進校として、体育の授業の質の向上と、体育的行事への取り組みの充実を図る。	新体力テストの総合評価結果がA～Cが80%をめざす。	新体力テスト 学校アンケート など	通年	概ね順調に進んでいる	△ 新体力テストの総合評価結果AからCが80%に満たない	○ 体力向上では、夏休み前後が猛暑日が続くことから体力向上を目指すことが難しくなっているため、早く体育館にエアコン設置を望みたい。
			●体育委員会の活動や業間活動を活かし、運動経験・体験を増やす。高学年では、ICTを活用し連合運動会にむけて、堺版STEAMブック学びのめあてを自ら選び取ることに挑戦する。	学校全体で『運動することが好き』という肯定回答率83%をめざす。	CBT調査 学校アンケート	2・3学期	概ね順調に進んでいる	○ 東っ子アンケートで運動することが好きの肯定回答率が87%	○ 他の季節は、休み時間運動場を使い元気よく遊んでいる子どもを見かける。評価したい。
(地域連携)	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域と共に歩む学校づくりを進める。	学校ホームページ、学校だよりを活用し、教育活動の情報発信を行う。	学校アンケートで「学校は、教育方針や教育活動の様子を校報やホームページ等でよく伝えている」と答えた保護者の割合は90%以上。	学校教育アンケート	通年	概ね順調に進んでいる	△ 学校アンケートで「学校は、教育方針や教育活動の様子を校報やホームページ等でよく伝えている」と答えた肯定回答率は80%台	○ 信頼される学校については学校通信『こおろぎ広場』やHPを活用し発信していたいたてますので学校での取り組みがわかりやすく伝わってきます。マラソン大会に教職員や管理職が参加し、子どもたちが喜んでいて、地域の行事には先生方が顔を見せてください嬉しく思います。
			●「児童たちの安全と安心のために」を合言葉に、保護者・地域の方とつながる学校づくり行う。	見守り活動や地域の行事において、地域・学校・保護者が連携して取り組んでいる。	進捗状況 学校協議委員 のご意見	通年	概ね順調に進んでいる	○ 日頃より学校協議委員の皆さまに学校行事にお越しいただきご意見を聞く機会を心がけた	○ 学校・PTAの方々地域行事に参加されています。見守り隊の活動者が高齢化してきているので改善が必要。

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
【豊かな学び】の重点目標として取り組みを勧めたのは、毎朝の「モジュール学習」で自己選択・自己決定を原則とした学習スタイルで認知トレーニング(ビジョントレーニングや注意集聚力の向上)を行った。児童のアンケート結果から児童が自分で選んだ学習方法や自分のペースでできる学習を好きと答える児童が80%台後半であったことや自主学習が定着してきたことは成果ととらえている。授業改善では、主体的対話的な学びの土台作りとして、自分の考えを持ちペアやグループ学習での対話の中からより自分の考えを深める学びの循環をめざした。 【豊かな心健やかな体】豊かな心を育む取り組みとして、一人ひとりの児童に積極的にかわかり、肯定的に受容することによって自己肯定感を高め教職員への信頼感を高めることをめざしたが、学校アンケートの結果から先生はよく話を聞いてくれる先生はよくほめてくれるの肯定回答率が70%台にとどまった。健やかな体の育成では、休み時間に運動場で遊ぶことで身体を動かすことや運動することが好きと答える児童が全体の87%と高い肯定回答率であった。業間活動の充実が授業への集中力を高める好循環を生み、全国体力向上優良校賞を受賞した。	6年度の重点目標の実現に向けて、1年間の教育活動、学習、教育内容、学校行事他など全国体力向上優良校賞を受け取ることを含め、全体的に高評価としたいと思います。評議員の参加が難しくなっているように感じます。働き方改革などで、開催が書面開催とならないように評議員には参加できる人選を検討してほしい。基礎・基本を身にしっかり応用する力を持ち自分の考えを話したり書いて伝える場をしっかりと作っておられると思います。昨々タブレットに頼っている場もよく見かけます。一つの方法としては大事なツールですが、やはり生きた人間同士の対応がより広まるほうが良いのではないかと思います。以前は休み時間に子ども達の姿があまり見られず残念だと学校評議員会で話したことがあります。改善されたことは喜ばしいです。